



① 腐食して倒れた信号機  
② 信号機の根元部分=いずれも三重県鈴鹿市で(同県警提供)

# 犬の尿?

## 鈴鹿の信号機、根元からポキリ 原因は…

今年二月、三重県鈴鹿市の市道交差点で信号機の鉄製の柱(高さ六・五メートル、重さ七十キログラム)が、腐食して根元から倒れた。県警が原因を調べたところ、犬の尿で腐食が早まった可能性が高いことが分かった。現場は犬の散歩コースだった。県警科学捜査研究所によると、倒れた信号機の根元の地面からは、同じ交差点の別の信号と比べ四十二倍の尿素が検出された。尿は主に水分と塩分などが含まれており、いずれも腐食を早める原因になるといふ。

現場は、飼い犬の散歩コースとなっており、新たに設置した信号機にもたびたび散歩中の犬が尿をかけているのを確認できたため、県警は犬の尿が腐食を早めた要因と結論づけた。柱の耐用年数は約五十年だったが、倒れた当時は設置から二十三年だった。けが人はなく、近くの病院のブロック塀が一部壊れた。

県警交通規制課の高橋康二課長(五十)は「少量とはいえ、日常的に繰り返された結果、金属製の標識や信号機などに尿をかけるのはやめてほしい」と訴えている。

新たな信号機の柱には根元に尿や雨水がたまらないよう、側面に傾斜を付けたコンクリート製の土台を設けた。

問1 信号機が倒れた原因は犬の尿と考えられています。そのように考えた具体的な事実を二つ書きましよう。

①  
②

問2 同じことが起きないようにどんな対策がとられましたか。二つ書きましよう。

①  
②

## 【活用にあって】

「鈴鹿の信号機、根元からポキリ」

あらっ、どうしたのだろうと興味をそそられます。原因は「犬の尿？」。今度は、「どうして？」と頭の中は「？」でいっぱいです。

ということで、本ワークシートでは、なぜそのような結論になったのかという具体的な事実を読み取ります。今後の対策についても、同様に読み取っていきます。「～だから、・・・だ」という原因と結果（因果関係）をつかみましょう。

この記事に関しては、「中日春秋」というコラムでも取り上げられています。次ページに掲載します。

### 解答例

問 1 : ① 同じ交差点の別の信号と比べ 42 倍の尿素が検出された。

② 新たに設置した信号機に犬が尿をかけているのを確認できた。

問 2 : ① 尿をかけるのはやめてほしいと訴えた。

② 信号機の側面に傾斜を付けたコンクリート製の土台を設けた。

中日春秋

〈さあ事だ馬のしよんべん渡し船〉。落語の「岸柳島」のまくらにこんな川柳が出てくる。その昔の渡し船には馬も一緒に乗せていた。その馬が狭い船の中で勢いよく…となれば、確かに大ごとである▼〈さあ事だ〉となるのはなにも渡し船の馬に限らぬらしい。三重県鈴鹿市での信号機が腐食し、倒れた事故である。耐用年数を五十年と見込んでいたが、半分程度の二十三年で倒れてしまった。県警科学捜査研究所の分析によると、どうやら原因は犬のオシッコらしい▼倒れた信号機は犬の散歩コースにあり、根元からは別の信号機に比べ、四十倍を超える尿素が検出されたそうだ。馬に比べれば、少量の犬のそれだが、積もり積もれば、信号機さえ倒すのか▼散歩途中の排せつを防ぐため、散歩前に用足しを済ませてとはよく聞かすが、飼っている側からするとこれがなかなか難しい。どんなにしっかりと電柱などでマーキングをしてしまつことはある▼難しいといえども根気よく教え、腐食しやすい鉄製の信号機や標識の前で片足を上げたときなどは大声でしかるしかあるまい。万が一には水でしっかり洗い清める。少量の水をおまじない程度に振りかけている飼い主をお見かけするが、これでは効果は薄かろう▼原因は犬の尿かもしれないが、やはりそれは人の粗相である。気をつけたい。犬に「悪役」を押しつけてはなるまい。